

洞林寺護持会会報

錦 糶

令和四年お盆・秋彼岸合併号(通算161号)



写真
佐々木
広氏

蓮華の蕾^{つぼみ}

観音様は左手に一輪の花をお持ちです。今にも咲きそうな蓮の蕾^{つぼみ}を表現したものです。悟りを約束されながらも菩薩として働く観音様を象徴しております。この蕾の状態の蓮華を「^{みかいふれんげ}未開敷蓮華」「^{みふれんげ}未敷蓮華」と呼びます。

愛語を聴くは、

肝に銘じ魂に銘ず

— 升澤会長の御逝去を悼んで —

洞林寺住職 吉田 俊 英

1、布施とは貪らざるなり

昨年十二月二十二日、洞林寺護持会会長 升澤友勝様が亡くられました。昨年三月二十一日に護持会役員と洞林寺婦人会会員が参列して春彼岸法要をお勤めしましたが、この時が洞林寺に來た最後となりました。平成十二年に結石を取る手術をした時以外、大病をすることも無く、持病も無く「薬は何も飲んでません。」と語っておられました。健康な人でも年老いて行くのであり、身体は弱って行くものだという理を私達に示して下さいました。

護持会の副会長をお願いする時も、会長就任をお願いする時も、快くお引受けくださいました。

平成二十二年五月二十九日三十日、庫裡会館の落慶法要と私の晋山結制法要が行われました。晋山式を行うに当たって、住職は檀信徒の代表のお宅を安下処として草鞋を脱ぎ、身支度を整えて其処から寺に向かう習わしになっています。升澤会長に

「晋山式の安下処をお引受けていただけませんか？」とお願いしたら、笑顔で「ようがす。お引受けします。」と即答いただきました。ありがたかったです。感謝しております。

升澤様は第二教区護持会の副会長、そして護持会長もお勤め下さいました。第二教区の教区長老老師から「洞林寺の升澤さんのご就任をお願いしたい。」と頼まれた時、私は正直心配しました。当時、友勝さんは地域の町内会長や県職員のOB会「勾当台倶楽部」の事務局の仕事を引き受けており、かなり多忙だったと思います。そういうお忙しい中でも、第二教区護持会の副会長、会長をお勤め下さいました。

多忙であっても、升澤会長から愚痴を聞いたことがあります。「みんなが手伝ってくれるから、何とかやっています。」という感謝の言葉を言う方でした。修証義第四章に「布施とは貪らざるなり」「報謝を貪らず、自らが力を領つなり」とあります。骨身を惜しまず、見返りを求めず、自分の出来る範囲で精一杯努める、と言う意味です。升澤会長はまさにそういう方でした。



令和2年2月 護持会役員会新年会にて

2、身の引き締まる言葉

升澤友勝様が護持会長の就任挨拶を会報に書いた際、「住職の意を体して」という一文があります。その後、護持会役員会でも開会の挨拶の際に必ずと言うほど言われた言葉です。私にとってちょっと面映いですが、とても有難い言葉であり、身の引き締まる言葉でした。

大きな費用や時間が費やす行事や工事の場合には「和尚さん、思うようにやってく

洞林寺護持会長 就任挨拶

和田 哲郎

「ださい。」と言って下さいました。これも有難い言葉でした。有難い言葉ですが、そう言つて下さったからと言つて、無鉄砲に突っ走る訳には行きません。むしろ、「そう言つて下さった升澤会長をがっかりさせてはいけない。失望させてはいけない。」と自戒しなければなりませんでした。期待に応えるため、より多くの意見を聞き企画を練り直し、根回しに努めたつもりです。すべて上手く行つた訳ではありません。悔やむこともありますし、反省することも多々あります。でも、升澤会長の言葉が無かつたら、もつとひどい結果だったかもしれません。

修証義四章に「面^{むか}いて愛語を聞くは面^{おもて}を喜ばしめ心を楽しくす」「面^{むか}わずして愛語を聞くは肝に銘じ魂に銘ず」と有ります。升澤会長の言葉は私にとって愛語でした。有る時は励まされ、或る時は自分自身を見詰め直す機会とさせていただきました。

お盆には、新盆の棚経のためご自宅に伺わせていただく予定です。生前の温顔を偲びながら、お位牌に向かって御礼の気持ちも込めて読経させていただきたいと思つております。

この度、升澤友勝護持会長の後任として、また優秀な役員の方々がいる中で大役を引き受けることとなりました和田哲郎と申します。

升澤護持会元会長の時代には洞林寺にとつて庫裡会館建設、現任職の晋山結制法要・庫裡会館落慶法要と一大行事が多数ありました。また東日本大震災の地震被害など大変な時期でありましたが、見事な実行力統率力により乗り越えてこられました。

現在洞林寺ではそのような行事も無く、庫裡会館建設事業の時のように頻繁に会議を開いたりということはありません。ただ新型コロナウイルスの蔓延により、なかなか行事運営の難しい時です。

私がそもそも洞林寺に関わつたのは昭和四十五年、前任職の道彦和尚がブラジルより帰国されブラジルの運転免許証を日本の免許証に替える手伝いをしたのが最初です。昭和四十六年に父を亡くし、私はいわゆる位牌持ちの立場になりました。洞林寺の墓地区画整備の時は、まだ護持会会員ではありませんでした。道彦和尚から手伝つてく



護持会総会司会をする
和田会長

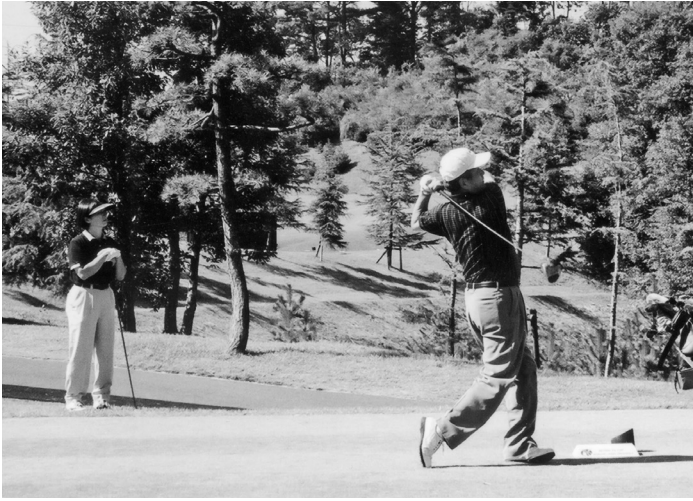
れないかと声をかけられておりましたが、道彦和尚がお亡くなりになった翌年、昭和六十年三十七歳で護持会役員になり、現在に至っております。

私は本来なら裏方として護持会運営に関わるのが合っており、表舞台は苦手です。それでも会長に推挙され、総会議決で「選任」されましたので、引受けさせていただきます。もとより浅学非才の身ですし甚だ微力ではありますが、檀信徒並びに洞林寺ご住職の意を体し副会長はじめ護持会役員の皆様と協力し洞林寺護持会の皆様の賛同を戴きながら護持会の諸事業を推進いたします。また護持会の隆盛と洞林寺の興隆に努める所存です、何卒皆様のご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

櫻井勇一副会長を偲んで

護持会副会長 横田俊明

長年にわたって洞林寺護持会を支えて来られた櫻井勇一副会長が去る五月十九日ご逝去されました。難しいご病気に向き合って頑張って療養されて居られると伺っておりましたが、誠に残念です。五月二十二日



ティーショットを打つ櫻井勇一氏 左は奥様

の葬儀の際には、和田哲郎会長からの弔辞を不肖私が代読させていただきました。

櫻井勇一様は長年にわたり洞林寺護持会の副会長を務め、櫻井善五郎元会長と升澤友勝前会長を補佐して来られました。彼岸法要や盆塔祭では法要の司会、護持会総会や役員会の議長を勤めるなど大事な役を受け持って下さいました。平成十八年から始まった庫裡会館建設事業では建設委員会統括本部長として護持会役員と護持会会員を統率し、建設事業推進に大きな力を発揮されました。

私も護持会役員の一員として櫻井副会長とは十年ほど一緒に働かせていただきました。優れた力量で護持会運営の中核を担う御姿を間近に拝見させていただきました。

いつも檀家の皆様には言葉をかけられ、こまやかな気遣いをする方でした。心優しいお人柄がにじみ出ていらつしやいました。

プライベートではゴルフを好まれ、長年ご家族でプレイを楽しまれておいでだったと聞いております。その成果でしょうか、お孫さんがジュニア大会でいつも素晴らしいスコアを出され、近々プロテスト挑戦と伺っております。私もゴルフの経歴は長

いのですが腕は上がりません。ぜひ櫻井さんに教えを乞いたかったなあと非常に残念に思っております。今頃は黄泉の国で思いつきクラブを振っていらつしやることでしょう。櫻井勇一さんどうぞ安らかに眠りください。

合掌

ブラジルからの

研修生を迎えて

吉田 ふう子

JICA（国際協力機構）草の根技術協力事業の一環として、ブラジル連邦サンパウロ市における音楽リハビリを活用した介護予防モデル構築のため、平成二十八年からブラジルから研修生の方々が毎年仙台に来られています。

ブラジル側はブラジルの名門サンパウロ大学老年学部が研修の窓口となり、仙台で介護リハビリ事業を行う（株）ゆらリズムがサンパウロの看護介護の専門家に技術指導・技術移転を行い研修支援事業です。サンパウロ大学のプロジェクトリーダーである佐藤ローザ由香教授は日系二世のブラジル人です。ローザ由香教授の御両親は宮城県川崎町のご出身で、昭和三十二年に前住



本堂でJICA研修生と。筆者左、佐藤ローザ由香教授
右は、上利ブラジル宮城県人会会長

職の吉田道彦和尚と同じ移民船でブラジルに渡った方です。

ローザ由香教授のお父様の佐藤右一さんはブラジル宮城県人会の副会長を務められ何度か宮城に戻る機会が有り、洞林寺にも一度お見えになり道彦和尚の墓参りをして下さいました。そういう御縁在るローザ由香教授の教え子さんたちが日本に研修に来るといので、宮城県海外移住家族会では

今まで三回ほど洞林寺を会場に研修生たちの歓迎会を開催しました。

今回の研修にはブラジルから十名の研修生が参加でした。研修生といっても、ローザ由香教授のほかにはサンパウロ大学の教授が四名、サンパウロ市役所職員や福祉団体職員、ブラジル宮城県人会会長の上利エジル氏等錚々たる顔ぶれでした。

洞林寺がブラジルと深い御縁があることから、(株)ゆらリズムから依頼され、七月二十七日は洞林寺の二階を会場として研修を行われました。

研修の休み時間の折り、研修生の方々に位牌堂にある「海外移住物故者諸精霊」の位牌にお焼香していただきました。「海外移住者の家族で結成された宮城県海外移住家族会が長年海外移住者を供養する慰霊祭を鳴子で開催してきたこと、宮城を訪れた移民関係者が気軽に海外移住物故者の冥福を祈ることが出来る場があることが望ましいと考え、海外移住家族会元会長の鎌田源一郎氏が発願して洞林寺に位牌が祀られるようになったこと」を説明しました。また、「仙台市で初めてブラジルの代表的な花イペーが咲いた」という二年前の河北新報の記事をコピーして、洞林寺境内に有る

イペーの木について説明し、ブラジルの方々との長年の交流のことをお話しさせていただきました。

研修が終了し、予約したタクシーに乗る研修生たちを駐車場で見送りました。ブラジル国旗を模したタペストリーを両手に持ちながら「チャオ(さようなら)」と声を掛け、お別れをしました。ブラジルの方々を見送ることの寂しさを感じながらのお別れとなりました。一日だけのお付き合いでしたが、私にとっては充実した思い出となりました。

まちなか散歩へ

— 映画・小説の舞台「仙台」 —

護持会副会長 佐藤泰憲

仙台在住で数々の文学賞を受賞している作家の一人に、伊坂幸太郎氏がいます。千葉県生まれだが、大学入学以来、仙台を拠点に活躍している。某有名コーヒーチェーンの市内の店の片隅でパソコンをたたいて原稿を書いている姿を見かけた人が居る等、都市伝説の話は多い。

最近、機会があって伊坂さんの本を何冊か読むことがあり、同じ時期にケーブルテ

テレビで映画化された作品が放映され、昔、映画館で見たものも含め画面を見つめた。

◇「アヒルと鴨のコインロッカー」

八木山動物園 愛宕神社 学院大学泉キャンパス周辺 JR仙台駅構内コインロッカー 市内のペットショップ

◇「重力ピエロ」

壺式参横丁 東北大学(片平、川内、青葉山) 八木山松波町 県美術館

卸町 評定河原橋 泉中央ペDESTリアンデツキ 大倉ダム 市内のラウン

ジヤバー

◇「ポテチ」

市民球場 青葉通 市役所北庁舎 国分町の居酒屋 上杉通のマンション

◇「ゴールデンスランパー」

藤崎デパート フォーラス 定禅寺通中ノ瀬緑地 厚生年金病院 雨水管の中 ロイヤルパークホテル 広瀬川

卸町

◇「アイネクラライネナハトムジーク」

卸町公園 壺式参横丁 ウエステインホテル 仙台駅前ペDESTリアンデツキ ゼビオアリーナ仙台 錦町公園 市内のレストラン、居酒屋、美容室

それぞれの映画のロケ地を書き出して見ましたが、本と映画では多少設定が違っているが、殆んどが、我々仙台に住んでいる者には、極、日常の場所が舞台になっている。そういう私の家の近くの坂が、画面に登場したときは、眼を凝らしたものである。伊坂さん本人も、自署「仙台暮らし」のなかで、自分の小説の舞台は仙台であり、映画化されれば仙台でロケが行われ、地元のマスコミに取り上げられ、なんでもかんでも映画化される印象があると、ぼやいているようだ。

地元でロケが行われると、関係者が落とす金、それを観た観光客が増える、文化振興に役立つなどの波及効果が期待され、映画のみならず、朝ドラ等も含め各地で招致合戦になる。映画でロケ地として使用された場所を巡ることで、原作を身近に感じ、文学に親しみながら街並みや自然、文化をより深めたいと思いが、伊坂さんの本や映画を楽しみました。

今回はたまたま伊坂作品に限定されましたが、仙台、宮城を舞台にした作品は「半落ち」「殿利息でござる」「春との旅」昨年の「護られなかった者たちへ」等沢山の作品があるので、これらの場所を訪ね、その

店で食事をし、地域への関心愛着を深めたいと考えています。



伊坂幸太郎氏の著作

永平寺修行回想記 其の二十

洞林寺副住職 吉田彦英

・侍真寮公務中生活(朝々屋)

御上檀でのお勤めが終り今度は山内行持ずいきにずいき随喜(参列すること)します。朝の坐禅

◎原稿募集

皆様のお便りをお待ちしております。



永平寺承陽殿 外観

(暁天坐禪)には出れませんが永平寺本堂(はつちう)で行われる朝課には当番であつても出なければなりません。また朝課の一番最初は「本堂献湯(ほんだうけんとう)」という差定になります。これは朝課の一番初めに曹洞宗を開いた道元禪師に米湯をお供えし、朝のご挨拶並びに参

身近かなニュース、心境などどうぞ
お寄せ下さい。

列する者達が一日無事に過ごせますようお願い申し上げます。本堂の法要管轄は本来法要系である「殿行(でんぎやう)」の修行僧達ですが、道元禪師が対象となるので御真(ごしん)廟行者(びやうぎやう)である「真行(しんぎやう)」が主体となります。法要前には本堂御上檀に米湯を供真和尚がお供えするので、すぐ脇にある御供所(ごくうじよ)で湯器の準備を行います。そして合図があつたら湯器を渡します。

法要が終わつたら湯器が下がってくるので受け取り洗浄し片づけけます。永平寺本堂にお供えするものですから湯器も大きく、高さが六十cmほどありぶつかりしないよう慎重に扱わなければなりません。その後は他の修行僧達と同様に随喜(ずいき)します。午前一時半に起床しているので本堂での読経中猛烈な眠気がやってきます。どうにか寝ないよう、唇を噛んだり、指をつねったりしましたがちょっとしか効果はありませんでした。私は眠気に襲われると体が揺れる癖があるので、隣に座っている古参和尚に小突かれることもありましたが、隣に座つていまして朝課が終り僧堂飯台、回廊清掃という流れとなります。

回廊清掃から戻り回廊伝達をノートに書いて、すぐフル装(塔袈裟帯坐具、着ベッ

ス)に着替え今度は昼のお勤めの準備を御供所で行います。昼は朝に比べお膳にご飯やおかずが多く、器に盛るのにけっこう手間がかかります。ご飯も器に綺麗に盛り付けなければなりません。しゃもじでなだらかな円錐状に整えていきます。また朝はお茶だけをお供えしてましたが昼は米湯も追加されます。

御上檀での昼のお勤めが終わると器物が下げられます。この洗い物がとても多くかなり手際よく洗わないといけません。もちろん洗い残しはご法度、拭く際も水滴が残っていないか厳しくチェックされます。またこの片づけが終わらないと昼食を摂ることができず、お腹をすかしながら『早く終わらせないとご飯が食べれない!』と必死に手を動かしていました。そんなこと思つていても、単調な作業が続くので時折猛烈な睡魔に襲われることもありましたが、もう一人の公務中の仲間にはさすつて起こしてもらい助けてもらいました。

昼食ですが、ゆっくり食べている時間はありません。公務中のときはご飯を五分以内で食べきると言われました。ほとんど噛めず味噌汁で流し込むような食べ方でした。私はけっこうゆっくり食事を摂る

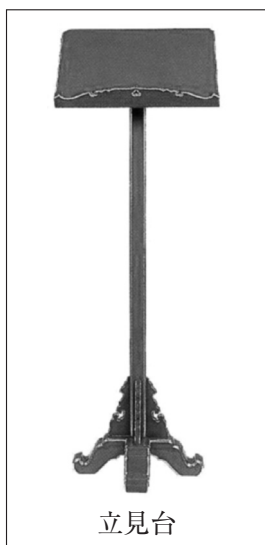
方だったので、こんなに短い時間の食事は衝撃的な出来事でした。

・侍真寮公務中生活（昼く夜）

昼食を終えると再び作務衣に着替え等に手に取り承陽殿、承陽門周りの清掃です。ちゃんと植えられている植物以外御真廟の周りには雑草がまったくありません。毎日このような整然な姿を維持しているのは侍真寮員の方々が頑張っていたからなのかと改めて感銘を受けました。石畳をデッキブラシで磨いたり、蜘蛛の巣をとったりと注意深く清掃をしなければなりませんでした。

晩課（夕方のお勤め）の時間が近づいてきました。御上檀でも夕方のお勤めが行われます。

再びフル装となり、御供所で準備を行います。



立見台

ます。夕方は米湯のみをお供えするので三度のお勤めの中で一番準備が少なく済みました。その後夕食となり、午後六時から夜の全山行持が始まるまで殿真行の合同慣らしが本堂で行われます。これは法要系寮舎の法要進退の練習の場で、三百六十五日毎日行われます。

真行は立見台たちけんたいをもつて慣らしを行います。これを両手で持ち決められた足取りで本堂内を端から端まで歩きます。そして集合がかり、皆で「キリ」という動きをします。これは立見台に置かれた回向集えこうしゅうを、これを読む役寮さんの前に置く進退です。重たい見台を片手でうまく扱う技術、筋力が必要とされます。慣れていない私は必死の形相で、先転役の修行僧達と共に汗を垂らしながら一時間過ごしました。

一日の最後に開枕かひんの儀礼があります。これは道元禪師がお休みのご挨拶をする儀式です。これで一日の侍真寮の公務は終了となります。この内容の一日が一週間続くことに絶望を感じたことが記憶に残っています。ただそんな極限の状況でも同日転役の相手もいたので、お互い頑張ろうと励ましました。

（次回に続きます。）

懐かしの昭和の記憶シリーズ No.3

仙台駅西口 菓子「丹六」

広報幹事 伊藤 眞一郎

昭和三十年代戦後の復興期、まだ今のように物余りで何でも手に入る時代では無く、その場だけはパツと明るく輝き夢と希望に満ちた菓子店が在った。

「丹六」その店があつたのは現在の仙台駅前西口広場の向かい、西を向いて青葉通り、右角丸光デパート手前に在り、店頭には黒蜜かりんとう、甘納豆、マカロンなどの美味そうな当時の子供達の、いや大人にも貴重で嬉しいおやつが前面ガラスのケースにズラリと並び、裏から手スコップで取



丹六と丸光

り出し量り売りしていた。

その当時の子供達は親に手を引かれニコニコ顔で訪れた記憶があるだろう。駅前店閉店後は若林区南鍛冶町三百人町入口に移転して暫く営業を続けたがいつの間にか姿を消し、店頭の賑わいと懐かしい味を思い出に仙台っ子の記憶に今も刻まれている。

破壊的カルトや靈感商法から 身を守るために

洞林寺住職

1、破壊的カルトとは

カルトとは、本来は宗教儀礼を指す言葉です。但し、非常に熱烈な信仰や熱烈な宗教活動を示す意味で用いられるようになりました。マインドコントロールなどの悪質な手法で信者を獲得し、本人や家族や社会全体に害を与える集団のこともカルトと呼ばれるようになり、従来のカルトと区別するために、こうした集団や活動のことを「破壊的カルト」と呼ぶようになりました。

「破壊的カルト」の代表例と言えば、オウム真理教です。教祖麻原始め多くの幹部が逮捕され、裁判所から解散命令を受け、宗教法人としてのオーム真理教は解散しま

した。しかし、オームの信者たちがアーレフや「ひかりの輪」として、現在も活動を継続しており、今後も注意が必要です。

破壊的カルトといっても、宗教団体以外でも注意を要するものがあります。政治団体、ボランテイア、商業サロン、セミナーにも「破壊的カルト」と呼べるグループが存在します。政治的なカルトとしては、あさま山荘事件や集団リンチ事件を起こした連合赤軍やイスラム国が挙げられます。

商業カルトは、人々が持つ富と権力への幻想をかきたて、メンバーをほとんど奴隷的な献身状態に誘い込む特徴があります。ねずみ講やマルチ商法が代表例です。「必ず儲かるから」と勧めますが、儲かるのは勧めた人だけです。一定期間、缶詰め状態にしてマインドコントロールして金を貢がせる悪質な「自己啓発セミナー」も問題になっていきます。

2、霊視商法、靈感商法の手口

霊感商法とは、靈感があるかのように振舞って、先祖の因縁や霊の祟りなどの話を聞いて不安を煽り、印鑑・数珠・多宝塔などを法外な値段で商品を売ったり、不当に高額な金銭などを取る商法のことです。

“統一教会” 灵感商法の被害件数

【全国灵感商法対策弁護士連絡会】調べ



詐欺罪で逮捕された福永法源主宰の「法の華 三法行」の場合、病気で困っている人をカモにする詐欺行為を働いてきました。病院の前などで福永法源の著作を配り、著書には「研修に参加することで病気が治った」という体験談があり、病気で苦しむ人は藁にもすがる思いで法源のセミナーへ参加する。そこで足裏診断が行なわ

れ、法源が「放っておくと癌になる」などと脅して、高額な研修に参加させられたり、三百万円以上の高額な掛け軸を買わされたのです。

3、したたかな「統一教会」

さて靈感商法の創始者？「世界統一キリスト教神霊協会」も取り上げておきましょう。

オウム真理教が有名になる前から、統一教会は靈感商法で悪名高い団体でした。しばらくメディアに乗らないなあと思っていましたら、七月九日の安倍晋三元首相が撃たれるという事件以降、連日テレビ等で取り上げられています。

この団体は、正体を隠しながら学生をセミナーや合宿に誘って拘束しマインドコントロールして信者にして、偽募金活動、珍味売り、高麗人参ドリンク販売要員にしてきました。セミナー参加者を騙して、「あの世で苦しんでいる先祖を救うため、高額な印鑑や大理石の壺を買いなさい。」という商売をしてきました。

平和・環境・ボランティア・SDGsなど真面目な人たちがつい話を聞いてしまいそうな団体を名乗って、我々に近づいて来

ています。洞林寺に「宗教者間の対話についての講演会」の案内状が届きました。電話で「手紙届きましたか？」と聞きました。団体名や主催者をネットで検索したら、統一教会系の団体でした。とにかく「平和」「健康」「福祉」等正体を偽って近づいてきます。事務所所在地をスマホで検索すると、「統一教会日本本部と同じ事務所だ。」と正体がわかります。何事も用心が必要です。

宗教がらみの勧誘は、「私には洞林寺という菩提寺が有ります。」と言って断わりましょう。

※もし知合いの方が巻き込まれた場合は、全国靈感商法対策弁護士連絡会に相談しましょう。

FAX 03-3355-0445

三十七世顕敵和尚様の五十回忌

洞林寺住職

去る六月二十五日、洞林寺三十七世徳峯顕敵大和尚様の五十回忌法要をお勤めしました。先代道彦和尚の父である顕敵和尚様は昭和三年から昭和四十八年まで四十五年間洞林寺の住職を務められました。



三十七世吉田顕敵和尚

梅檀高校学監、曹洞宗宮城県宗務所長、仙台仏教会会長などの役職を勤められ、請われて幾つかのお寺の兼務住職も勤めております。当時を知る方から「お経の声が素晴らしい和尚さんでした。」という思い出を聞いたことが有りました。それ故、他のお寺さんの法要で維那いのというお役を頼まれることが多かったそうです。

先々住と御縁の深いご寺院様と孫曾孫を全員呼んで五十回忌法要を勤めようと思っておりましたが、一月以降の新型ウィルスの感染者増もあって、参列者の数を約半数に減らして執り行いました。先々住様の遺徳を偲び、当山の法灯護持を誓いました。法要の際、護持会役員会様から献花をいただきました。ありがとうございました。

仏の教えを聞く会

主催 曹洞宗宮城県布教師協議会

令和四年九月十四日(水) 午後三時

法話 亘理町 鳳仙寺徒弟 坂野敦至師

法話 仙台市 玄光庵住職 伊申泰純師

会場 仙台サンプラザ1階「ローズ」

令和四年十一月七日(月) 午後三時より

法話 石巻市 統禪寺住職 木村孝禪師

法話 登米市 大徳寺住職 橘 智法師

会場 石巻駅前 おおもりやビル3階

令和五年三月七日(火) 午後三時

法話 仙台市 大満寺住職 西山道環師

法話 石巻市 法山寺住職 北村暁秀師

会場 大崎市古川 グランド平成



おめでとうございます

令和四年春の叙勲 双光旭日章

護持会役員 杼窪昌之 様

◎ありがとうございます

導師用袈裟 一組 青葉区 升澤祐子 様
為 導樹院融徳慈勝居士菩提

枝垂れ桜の竹垣改修御寄進 四十万円

仙台市太白区在住のお檀家様(匿名希望)

南側の駐車場が広くなりました

本年三月に、借地人が居宅を撤去し、貸地の返還を受けました。整地して砂利を敷込み転圧して、ロープ張りしました。

新寺小路側の駐車場には、最大二十四台分の駐車が可能になりました。お盆や彼岸法要の際の駐車場として活用していただきたいと思えます。

尚、車の出入りの際、利用者同士の譲り合いが必要となる場合があります。ご理解ご協力、お願い申し上げます。

令和4年度 洞林寺護持会総会議決 (返信ハガキ集計結果)

	議案内容	返信数	承認	承認しない	白票
議案1	令和3年度 活動報告	277	276	0	1
議案2	令和3年度 会計報告	277	276	0	1
議案3	令和4年度 活動計画	277	276	0	1
議案4	令和4年度 会計予算案	277	276	0	1
議案5-1	護持会会長 選任	277	274	2	1
議案5-2	役員改選案	277	274	2	1

護持会総会に諮られた全議案は、承認されました。

洞林寺護持会役員名簿

令和四年六月現在

あとがき

広報幹事 澤田裕一

夏の風物詩に願いを込めて

夏の風物詩、『仙台七夕祭り・前夜祭花火大会』ですが、今年は三年ぶりに開催となりました。新型コロナウイルス感染拡大の中、開催決定までさまざまな葛藤や障害があったと聞いています。前夜祭花火大会の翌日からは『仙台七夕祭り』がはじまります。多くの人たちが七夕の短冊に、『新型コロナウイルス感染終息』の願いを込めたのではないのでしょうか。

ところで、七夕祭りに欠かせない飾りには「七つ飾り」といわれるものがあり、それぞれに意味があることをご存じでしたでしょうか。例えば

短冊は、学問や書道の上達。

紙衣は、病気や災難の厄除け、裁縫の上達。

折鶴は、家内安全と健康長寿。

巾着は、商売繁盛。

投網は、豊漁・豊作。

屑籠は、清潔と儉約。

吹き流しは、織姫の織糸。

などになります。そういえば新型コロナウイルス感染拡大以来、七夕飾りには、紙衣が目立っていたような気がしませんか。来年は紙衣が目立たないような七夕祭りだといいですね。

役職名	氏名	役職名	氏名
会長	和田哲郎	会計幹事	我妻俊次
副会長	横田俊明	〃	佐藤重明
〃	櫻井善郎	〃	杼窪昌之
〃	佐藤泰憲	〃	菅原章
監事	吉田正一	〃	佐々木仁
〃	福島正孝	〃	後藤孝
〃	菅原啓夫	〃	吉田武雄
庶務幹事	佐々木好夫	〃	横田敏広
〃	舩澤善則	〃	富澤伸樹
〃	三浦宗廣	広報幹事	佐々木広
〃	鈴木俊弘	〃	田中悟
〃	山口雅範	〃	澤田裕一
〃	齋藤琢也	〃	伊藤眞一郎
〃	黒川利博	幹事	佐野公洸
〃	我妻幸一	〃	佐藤さつき
〃	我妻和明	〃	藤井治夫



仙台七夕 七つ飾りの一つ 紙衣